## インターネットと連動した 【滋賀生活情報紙】

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています www.Qa

vol.582·10月8日号

毎週木曜発行 4面に プレゼント情報!

が注目 新進気鋭の20歳

●Oh!Me編集室/株式会社ヤマプラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927

●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603

発行部数:100,000部

足したら終わり



# 関西フィルリラックスヨシサート野洲公演より

#### 1位になっても満足せず

「これまでさまざまなコンクールで賞をい ただきましたが、1位になって満足した ことはありません」

母はピアノの先生。3歳からヤマハ音 楽教室に通い、小学1年からは個人レッ スンを開始。コンクールへも挑戦を始 めた。練習していると、母が近寄ってき

て厳しく指摘する。毎日泣 きながら練習した。

#### 「鬼のように怖い母でした」

母の口癖は「べつにやめて もいいのよ」。だが、決して やめようとは思わなかった。 小学1年のとき、初めて出 場したコンクールでは、38度 を超える発熱にも関わらず 銀賞を受賞したが、悔しくて わんわん泣いた。コンクー

ルの結果にではなく、自分に満足でき なかったからだ。

うれしさよりも、さらなる高みに登りた

いという気持ちに心が移ってしまうのだ という。

### 本物のすごさにショック

東京芸術大学音楽学部付属高校に進学。 一人で渡欧し、ザルツブルグ夏期国際 アカデミーに参加した。講習だけを受 ける予定だったが、ロシア人の先生に



認められ、「ザルツブルグ音楽祭」の公 式プログラムに出演した。

演奏会づくしの日々が約1カ月続き、世

湖国出身のピアニスト、リード希亜奈さんは東京芸術 大学3年在学中の20歳。日本を代表するピアニスト

の登竜門「ピティナ・ピアノコンペティション」で年齢 制限のない最難関の「特級」部門でセミファイナ リストに選ばれた。さらに世界で三指に入る 「ザルツブルグ音楽祭」の公式プログラムに も選抜され、出演を果たした。世界が注

目する気鋭の演奏家だ。

界の最高レベルの演奏が繰り広げられ る。出演者の演奏を聴いて大きなショッ クを受けた。

「一つの音でもここまでタッチが磨ける ものなのか?表情の違う音が出せるも のなのか?」。それまで自分がやってい たことが音を立てて崩れたという。

ピアノは誰でも鍵盤を叩けば音を出 せるが、繊細な表現をするのは容易 ではない。極めれば極めるほど微妙 な音の世界が広がっていく。音楽の 知識、演奏に対する洞察力、そして人 生経験、生き様までもが音に出る。こ れほど奥の深い楽器はないと思った。

#### 悩みも努力への原動力に

座右の銘は「モア&モア」。もっともっ と高いレベルを目指したい。満足した ら成長が終わる。ピアノに限らず、どん な分野でも簡単に満足はしない。本物 に触れ続けることが上達の決め手だ。 この夏、地元野洲ではオーケストラとの 協奏曲を凱旋披露した。夏の恒例となっ た藤岡幸夫氏が指揮する「関西フィルリ

ラックスコンサート野洲公演」で、ラフマ ニノフの名曲、ピアノ協奏曲第2番を協 演。満席の会場は感動に包まれた。

今でも「ピアノに向いていないのかな?」 と悩むことがあるというが、決して現状 の自分に満足しない姿勢は、さらなる研 さんへの原動力になっている。これか らどこまで成長するか、注目の20歳だ。

(取材・越智田)

しがぎん経済文化センタ 077-526-0011





